

## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月2日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理統轄 (氏名) 森 憲司 TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2022年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,685	12.6	892	20.0	985	27.7	657	20.0
2022年3月期第1四半期	5,938	16.0	744	95.2	771	86.2	547	84.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,143百万円 (43.4%) 2022年3月期第1四半期 797百万円 (9,380.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	32.40	
2022年3月期第1四半期	27.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	64,644	56,539	87.4	2,786.28
2022年3月期	64,334	55,730	86.6	2,746.45

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 56,530百万円 2022年3月期 55,722百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		24.00		16.50	40.50
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		24.00		26.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,755	11.4	1,785	4.6	1,809	5.4	1,218	0.6	60.03
通期	27,560	9.0	3,620	7.9	3,660	4.1	2,510	30.2	123.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	21,803,295 株	2022年3月期	21,803,295 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,514,396 株	2022年3月期	1,514,396 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	20,288,899 株	2022年3月期1Q	20,288,949 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(表示方法の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及などにより各国で経済活動が正常化へ向かっているものの、ウクライナ情勢による地政学的なリスクが高まっています。日本経済においても、行動規制の緩和により経済活動が再開し、製造業においては設備投資に増加の動きがありますが、円安の影響や世界的な半導体の不足、原材料価格の高騰が継続し、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第1四半期連結累計期間における売上高は66億85百万円となり、前第1四半期連結累計期間59億38百万円と比較すると、12.6%の増収となりました。利益面では、営業利益は8億92百万円となり、同7億44百万円と比較すると20.0%の増益、経常利益は9億85百万円となり、同7億71百万円と比較すると27.7%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億57百万円となり、同5億47百万円と比較すると20.0%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、引き続き国内外の半導体・産業機械業界の需要が好調であり、売上高は30億68百万円（前第1四半期連結累計期間比16.0%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益7億57百万円（同34.0%の増益）となりました。

機械工具事業は、イベントの開催を含む対面営業の機会増加により国内売上高が前年並みで推移し、売上高は19億86百万円（同6.9%の増収）となりました。利益面では、原価率の上昇により、営業利益1億9百万円（同21.9%の減益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、組み込み用ポンプとブロワの需要が好調であり、売上高は11億2百万円（同11.2%の増収）となりました。利益面では、経費の増加により、営業利益36百万円（同30.5%の減益）となりました。

建築機器事業は、国内外の売上が回復基調にあり、売上高は5億27百万円（同18.8%の増収）となりました。利益面では、原価率の上昇により、営業損失10百万円（前第1四半期連結累計期間は14百万円の営業損失）となりました。

海外売上高は、22億46百万円（前第1四半期連結累計期間比10.5%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は33.6%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、646億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は470億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億31百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加3億28百万円、商品及び製品の増加2億93百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億69百万円、有価証券の減少4億99百万円等によるものであります。

固定資産は、176億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して22百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の減少37百万円、無形固定資産の減少4百万円、繰延税金資産の減少7百万円、投資有価証券の増加33百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は36億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億47百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少4億6百万円、賞与引当金の減少2億91百万円、買掛金の増加1億83百万円等によるものであります。

固定負債は、44億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して51百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少41百万円、リース債務の減少20百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億57百万円でしたが、配当金の支払い3億34百万円があったため、利益剰余金は、3億22百万円の増加で544億41百万円となりました。また、為替換算調整勘定の増加4億59百万円等があったため純資産の部は、565億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億8百万円の増加となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました「2022年3月期決算短信」から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,298	26,448
受取手形及び売掛金	4,070	4,399
電子記録債権	2,802	2,687
有価証券	5,499	5,000
商品及び製品	4,420	4,714
仕掛品	272	380
原材料及び貯蔵品	2,695	2,865
その他	616	512
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	46,675	47,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,353	11,414
減価償却累計額	△6,522	△6,627
建物及び構築物(純額)	4,830	4,787
機械装置及び運搬具	4,718	4,875
減価償却累計額	△3,576	△3,724
機械装置及び運搬具(純額)	1,141	1,150
工具、器具及び備品	7,430	7,486
減価償却累計額	△6,888	△6,953
工具、器具及び備品(純額)	542	533
土地	3,313	3,323
リース資産	2,581	2,572
減価償却累計額	△1,049	△1,051
リース資産(純額)	1,531	1,521
建設仮勘定	128	134
有形固定資産合計	11,487	11,450
無形固定資産		
その他	1,546	1,541
無形固定資産合計	1,546	1,541
投資その他の資産		
投資有価証券	3,070	3,103
長期貸付金	32	30
繰延税金資産	1,239	1,231
その他	300	296
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,625	4,645
固定資産合計	17,659	17,637
資産合計	64,334	64,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	977	1,160
リース債務	275	278
未払法人税等	769	363
賞与引当金	585	293
役員賞与引当金	30	9
その他	1,487	1,571
流動負債合計	4,124	3,676
固定負債		
リース債務	1,460	1,440
退職給付に係る負債	2,491	2,449
役員退職慰労引当金	123	131
資産除去債務	32	29
その他	372	376
固定負債合計	4,479	4,428
負債合計	8,604	8,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	54,119	54,441
自己株式	△2,892	△2,892
株主資本合計	55,000	55,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	751	769
為替換算調整勘定	71	531
退職給付に係る調整累計額	△101	△93
その他の包括利益累計額合計	721	1,207
非支配株主持分	7	8
純資産合計	55,730	56,539
負債純資産合計	64,334	64,644

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,938	6,685
売上原価	3,100	3,525
売上総利益	2,837	3,159
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	621	617
賞与引当金繰入額	144	158
退職給付費用	43	49
役員退職慰労引当金繰入額	7	8
販売促進費	41	41
研究開発費	215	260
その他	1,019	1,131
販売費及び一般管理費合計	2,093	2,266
営業利益	744	892
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	26	38
為替差益	-	31
雇用調整助成金	0	-
受取家賃	10	11
その他	14	17
営業外収益合計	56	102
営業外費用		
支払利息	3	8
売上割引	19	-
為替差損	2	-
その他	3	1
営業外費用合計	28	10
経常利益	771	985
税金等調整前四半期純利益	771	985
法人税等	223	327
四半期純利益	548	657
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	547	657

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	548	657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	17
為替換算調整勘定	288	460
退職給付に係る調整額	4	8
その他の包括利益合計	249	485
四半期包括利益	797	1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	1,142
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

従来、流動負債に表示しておりました「支払手形及び買掛金」は、支払手形の取り扱いがなくなり今後も発生する見込みがないため、当第1四半期連結会計期間の期首から「買掛金」に表示を変更しました。なお、これによる前連結会計年度の連結貸借対照表における組み替えはありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年3月期において徐々に回復してゆくと仮定して会計上の見積りを行っております。なお、前連結会計年度末から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,645	1,857	990	443	5,938
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,645	1,857	990	443	5,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,645	1,857	990	443	5,938
セグメント利益又は損失(△)	565	139	53	△14	744

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,068	1,986	1,102	527	6,685
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,068	1,986	1,102	527	6,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,068	1,986	1,102	527	6,685
セグメント利益又は損失(△)	757	109	36	△10	892

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。